

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDF ファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

学校名	静岡大学	個人・グループ名	茅野 峻治	作品名	デジタル振り返りシート
-----	------	----------	-------	-----	-------------

目的

現代社会は多くの情報通信機器が普及しており, 私たちの生活には欠かせないものになりつつある。特に, スマートフォンやタブレットなどのカメラやタッチパネルなどを搭載した機器の発展が著しい。学校現場でも高速の無線 LAN 環境や児童生徒に対し一人一台の情報端末の配備の検討が進められている。また, 教員の ICT 機器の利用を活発化する動きも高まっている。しかし, タブレット端末や ICT 機器を生かすことのできるソフトウェアや効果的な活用方法が少ないことが課題として考えられた。そこで私はタブレット端末に搭載されているカメラとタッチパネル画面を最大限に活用することを目的とした児童生徒の振り返りを促進し, 教員が生徒の学習過程を把握する汎用的に使用できるソフトウェアを開発した。

画像張り付けボタン

ペン種の変更

書いた線の消去

生徒が授業中に気になった点や重要だと思ったところを**画像**と**メモ**で記録することができる。

デジタル振り返りシート

HTML5 ハイブリッドアプリとして Monaca を利用。iOS、Android といった OS を問わずに使用可能。

ペン は 5 色 から 選 択

No.〇 技術太郎

この単元では…

画像とメモの記録をもとに単元の間や終わりなどに**レポート**としてまとめる。または, 発表の際に資料として用いることもできる。そして, 教員が適宜チェックをすることで生徒の学習過程につなげることができる。

まとめ

タブレット端末に搭載されているカメラとタッチパネルを最大限活用するデジタル振り返りシートを開発した。今後の展望としてユーザーインターフェースの改良や保存機能, 児童生徒や教員の間で共有することができるクラウドの利用機能などの増設に努めていく。

技術の進歩やグローバル化が進み, 社会は多様化し速いスピードで大きく変わっていく。それに応じて教育現場でも育てたい力や環境が変わっていく。その中で必要とされるものや求められるものを常に感じ, 考え, 児童生徒に提供していけるようにしていきたい。